TIFA セミナー

ウクライナ情勢をヨーロッパ史からみる

～ウクライナの人たちが守ろうとしているものは何か～

日時：2022 年 7 月 18 日（月祝日）午後2時～4時

場所：豊中市立生活情報センター くらしかん

3F イベントホール（阪急宝塚線 豊中駅から 900m）

お話：大津留（おおつる） 厚（あつし） さん（神戸大学名誉教授）

ロシアのウクライナ侵攻が始まって 5 ヶ月。連日のロシア軍の残虐な行為が報じられ、国際社会の非難にもかかわらず、攻撃は止みません。

言語や宗教、歴史など多様な社会であるウクライナの人が守ろうとしているものは何なのか。

西ウクライナに影響を与えたハプスブルク史から現在の情勢をひもとき、考えを深めていきたいと思います。

ウクライナ・リビウの駅に設けられた「母子室」で、子どもをあやすウクライナ人の母親＝3 月 11 日（共同）

＜講師プロフィール＞ 大津留 厚さん 1952 年東京生。東京大学社会学研究科国際関係論専攻単位取得退学。大阪教育大学教育学部助教授、神戸大学文学部教授を経て、神戸大学名誉教授。専門はハプスブルク近代史。著書に『ハプスブルクの実験』ほかがある。

＜TIFA セミナー＞
世界で起こっている問題について知り、学び、身近な問題として考えるための講演会や学習会です。

参加費：500 円（学生は無料）　　定員：50 人

主催： NPO **法人国際交流の会とよなか（TIFA）**

問い合せ・申し込み： NPO **法人国際交流の会とよなか（TIFA）**

当日参加も可

電話・FAX： 06-6840-1014　E **メール：**tifa99@nifty.ne.jp

ホームページ： http://tifa-toyonaka.org/

☆提供された個人情報は、このセミナーにのみ使用し、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、必要に応じて保健所等の公的機関へ提供します。他の目的には一切使用しません。
☆新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、中止・延期となる場合があります。